

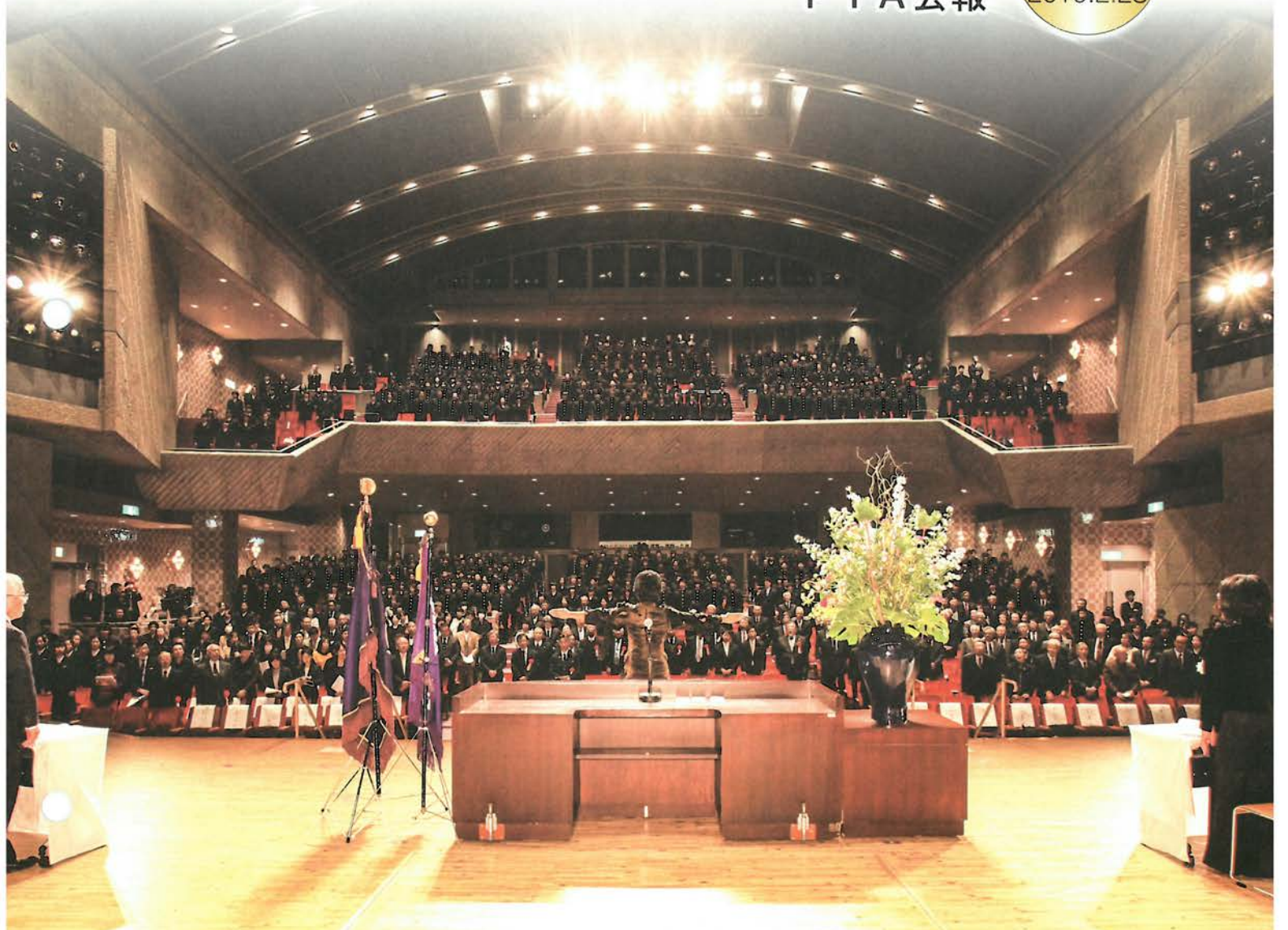
新 知 故 温



岩手県立一関第一高等学校
岩手県立一関第一高等学校附属中学校

PTA会報

No.150
2019.2.28



CONTENTS

- 校長挨拶 ②
- 修文練武の関高生 ③
- 特集・高校卒業 保護者と教員からのメッセージ ④
- 高校 PTA CABLE ⑥
- 写真集 文化祭・合唱コンクール ⑧
- 特集 創立120周年記念
- 写真集 修学旅行 ⑨
- 特集・中学校卒業 Boys&Girls, Be Ambitious! ⑩
- 中学校 PTA CABLE ⑫
- 平成30年度下半期部活動の記録 ⑭
- 行事写真集・編集後記 ⑯





ご挨拶

校長 遠藤 可奈子

お陰様で岩手県立一関第一高等学校創立120周年記念式典を成功裏に終えることができました。PTA役員の方々を始め皆様のご尽力に深く感謝申し上げます。本校が地域に支えられ、期待されていることを、全校生徒・職員が改めて感じる機会になったと感じています。10年目を迎えた附属中も生徒達が節目を意識して積極的な取り組みを展開し、中高ともに成長・発展を実感する1年でした。様々な経験を自信として、全校生徒が「高志」を掲げて「遂げずばやまじ」の決意で前進していくことを期待します。

高校の卒業式が近づきました。卒業生の保護者の皆様、おめでとうございませう。3年間または6年間にわたるご理解とご協力に心からお礼申し上げます。高校の卒業式は、高校3年間だけでなく親子で歩んできた貴重な年月の集大成——卒業式の日、私はいつもこんな思いを胸に式に臨みます。これまでのご労苦に敬意を表するとともに、巣立つ日を迎えたお子様の未来に幸多かれと心から願います。

冬休み前のある朝、学校前の路上に設置されたゴミ集積所からゴミが散乱しており、登校途中の本校生数人が拾い集めて片付けていたという出来事がありました。一度ならず、数回あったそうです。どれだけ手が汚れたらうかと心配になる一方で、私は非常に感銘を受けました。幼い頃、親御さんが手をひいて歩いていた時に、「汚いからゴミなんか拾っちゃいけません！」ではなく、「ゴミは拾って片付けようね。あとでちゃんと手を洗うのよ」と育てられた生徒達なのだろうなと思ったのです。だからこそ、散乱したゴミを見てとっさに手を出せる人に育ったのでしょう。損得ではなく、良いことをする——品性の高さとはこうい

うことなのだと感じました。

近年、新聞、テレビ、ネットからは自国の利益最優先を明言する政治家達の発言が次々に流れてきます。この社会が「正義」より「利益」、良いことをするより損得で行動するのが当たり前の未来に向かおうとしているとしたら、あまりに残念だと思います。生きるために必要な「利益」を求めるのは生物の本能ですが、人間ならば他者や全体を考えた「正義」を求めたいものです。チンパンジーなど一部の霊長類も「道徳性」(助け合う、ルールを守る等)を有することが知られており、利他的な行動ができるようになるのは進化の方向性でもあるそうです。人間社会が逆に進んでよいはずはありません。人も国も「利益」を得るのは間違いないものの、「正義」を伴わなければ尊敬されないし、幸福でもないだろうと思います。

子供達には幸福な人生を送ってほしい。何よりも優先する願いです。そのためにも心に「正義」を持つ大人に成長し、尊敬される人になってほしいと思います。そして私たち大人は自ら「正義」を実践しようと努力しつつ、その姿を次の世代に伝えていくことが大切なのでしょう。どんな時も目先の損得に流されず、品性ある判断と行動ができる大人を目指す——なかなか難しいですが、前述の生徒達を手本にしたいと思います。日々の行動に「正義」は宿ります。

終わりに、この1年間のご理解とご協力に心から感謝申し上げます。お子様の希望に満ちた未来のために、保護者の皆様と学校との信頼関係を一層強化してまいりますと存じます。よろしくご願ひ申し上げます。

(2)



Challenges are what makes life interesting; overcoming them is what makes life meaningful.

(困難は人生をおもしろくし、それを乗り越えることは人生を有意義にする)

(ジョシュア・J・マリーン)

修文練武の関高生!!

高校：全国大会出場 中学校：東北・全国大会出場 平成30年度

高校

◎水泳部

平成30年度全国高等学校総合体育大会(東海インターハイ)水泳競技 出場
 3年 千葉すみれ 女子50m自由形・女子100m自由形
 3年 瀬川 智尋 男子1500m自由形
 第73回国民体育大会(福井国体)水泳競技 出場
 3年 千葉すみれ 女子50m自由形・女子100m自由形
 2年 辻山 歩夢 男子200m背泳ぎ



先輩の後に続きインターハイ出場、そして決勝に進むよう頑張ります!(辻山)



◎競技歌留多部

第42回全国高等学校総合文化祭小倉百人一首かるた部門 出場
 第40回全国高等学校小倉百人一首かるた選手権大会 出場



「勝ちにこだわるからた」で、全国大会の決勝リーグでも勝ち進みたいです。(部長 佐藤)

◎文学部

第33回全国高等学校文芸コンクール
 詩部門 優秀賞 3年 阿部 朱莉
 短歌部門 入選 1年 佐々木夏美



◎ソフトボール部

第73回国民体育大会(福井国体)ソフトボール競技
 少年女子 第5位
 3年 細川 珠央



◎囲碁将棋部

第42回全国高等学校総合文化祭将棋部門
 女子個人戦出場
 3年 小山 賀子・嶋本 響



◎書道部

第23回日本教育書道振興会全国展
 奈良県知事賞
 3年 亀岡 紗衣

◎英語研究部

第13回全国高等学校英語ディベート大会 出場



中学校

◎陸上競技部

全日本中学校通信陸上競技岩手県大会
 2年 及川 悠里 男子100m 第3位
 3年 佐々木 琉偉 男子100m 第3位
 全日本中学校通信陸上競技東北大会
 3年 佐々木 琉偉 男子100m 第6位



レベルの高さを知ったので、精進を続けます。これからも走り続けます。

◎「わたしの主張」

第20回「わたしの主張」一関地区大会 最優秀賞
 第20回「わたしの主張」岩手県大会 最優秀賞
 第40回少年の主張全国大会～わたしの主張2018～ 奨励賞
 3年 小野寺千里 「挑戦し続ける勇気」



応援してくれる人々への感謝を忘れず、これからも挑戦を続けたいと思います。

◎水泳部

岩手県中学校総合体育大会
 3年 佐藤 鈴奈
 女子200mバタフライ 第3位
 女子400m自由形 第3位
 2年 細川 鼓太郎
 男子200m自由形 第1位
 男子400m自由形 第1位



全国大会に出場できるようにがんばります。

◎第32回都道府県対抗ジュニアバスケットボール大会2019

3/28～30 東京都

岩手県代表選手

2年 高橋 莉鈴



岩手県初の決勝リーグ進出を目標にがんばります。

【特集】高校卒業

保護者と教員からの

「温故知新」卒業記念特集です。旅立ちを迎えるにあたり、保護者のみなさん・先生方からたくさんのメッセージをお寄せいただきました。ありがとうございました。

Parent (親) + Teacher (教員) = Association (組織)。私たちは今までも、そしてこれからも、みなさん一人ひとりの応援団です。

233名の卒業生の未来に栄光あれ!! 卒業おめでとう。

感謝

•あなたのおかげで
沢山の幸せを感じる
事ができました。
感謝の気持ちを忘れ
ず前へ前へ!!

- 3年間ありがとう。たくさんの事にチャレンジしてください。いつでも応援しています。
- 日本一カッコいいJKだったと思います。親も貴重な経験ができました。ありがとう!
- 頑張り抜いた部活動。楽しい友人との日常。充実した高校生活でしたね。卒業おめでとう。
- 三年間、切磋琢磨した仲間は一生の友。それぞれの道で、更なる飛躍を期待しています。
- 先生方や友人に恵まれ休む事なく登校したことに感謝。これからは目標に向かって頑張れ。
- 素敵なお友達や先生に囲まれてとてもよい高校生活だったね。これからも頑張れ~!

A組 先入観が、皆さんの学びを妨げます。どんな時も、他者の良い面を見て学びましょう。

Live, love, laugh a lot! 金田知佐子

夢

- 夢に向かって自分に正直に自信をもち続け進んでください。必ず夢は叶います。
- 強い意志を持ち、ひたむきに頑張った3年間。努力は必ず報われる!夢に向かって頑張れ!

- あなたの夢への道は、決してまっすぐではないけれど、転んでも起きあがる心忘れずに!
- なりたいものになってください。千里の道も一歩からはじまるよ。
- 一緒に共有できた永遠の友情を大切に、未来へ進んでください。
- あなたの喜び、涙、悔しさ、努力、全て見ていたよ。強くなった自分を信じて羽ばたけ!

B組 親愛なる関高生諸君へ

「関高生でよかった!」と胸を張れる後輩であり続けてくれることを期待します。 石川 晶子

C組 「楽しそうに生きている大人」になりなさい。子どもが見てうらやましいな、と思えるように。君たちならなれるよ。 笹波 聡



メッセージ

For a better tomorrow

卒業おめでとうございます。いま、みなさんの心を満たす高揚感をとてもうらやましく思います。卒のような進路であれ、自分で切り開ける未来があるからです。他人と同じようになろうとしたり、他人と同じものを所有しようとしたりせず、自分が追い求めるものに一途であってください。若者や学生の本分と考えられるものを大切にしてください。そして、よりよい自分を求めて行動する人、よりよい社会を求めて学ぶ人、よりよい未来を求めて協働する人になってください。このかけがえのない時間が、充実した日々となることを願っています。 学年長 川村 正紀

挑戦

・新たな道へと踏み出す君達へ。自分を信じることを忘れず、進み続けていってください。

- ・「為せば成る」とは限らないが「為さねば成らぬ」のは事実である。常に挑戦者たれ。
- ・君を守ろうとする親鳥の翼は、君にはもう小さ過ぎる。何者をも恐れず堂々と前進せよ。
- ・百折不撓。何事にもめげずくじけず、志をもって挑戦してほしい。
- ・人生に正解はありません。正解を導けるのはあなただけです。卒業おめでとう。
- ・まだ見ぬ君に出会えるのが楽しみ!自分の可能性を信じ、未来を切り拓いて頑張れ!
- ・3年間の文武両道お疲れ様。人生は複数の道を究め成長していくもの。人生勉強頑張れ!
- ・どんなに大変でも自分で決めたことをやりぬいた3年間。これからも迷わず前進!

D組 「未来」の自分は「今」の自分が創っている。未来はすでに始まっている。今度会うときには、さらに成長した姿を見せてほしい。
千田 哲幸

応援

・およそ2万km。6年間の通学距離。勉強も部活も頑張った。これから先もきっと大丈夫。

- ・ただ後ろから見守るだけでした。これからもほどよい距離で見守り、応援していきます!
- ・あなたの頑張る姿が私の支えです。きっとその力は大きな形となって自分のものになるよ。
- ・離れるのは寂しいけれど、あなたには新しい出会いが待っています。その出会いを大切に。
- ・健やかに育ってほしいと願った18年前。今もその想いは変わりません。心と体を大切に!
- ・この3年間で忘れず、志を高く学んでください。父、母はこれからも応援していきます。
- ・毎朝5時の起床、電車通の3年間よく頑張りました。この先きっと力になってくれるよ。

E組 卒業生の皆様へ、いくつになっても、どんな環境でも学ぶ姿勢を忘れないで下さい。保護者の皆様へ、いくつになっても親子です。たくさん語らって下さい。
柿崎 朗

F組 卒業おめでとうございます! 時間は人間にとって最大の敵だと思います。でも、時間は人間に大切なものを与えてくれていると思います。
伊藤 仁士





PTA活動報告

全国高P連大会

PTA全国大会佐賀大会

高校PTA会長 畠山 勝彦



昨年8月20日(月)・21日(火)の両日、佐賀県で開催された「第68回全国高等学校PTA連合会大会佐賀大会」に遠藤可奈子校長先生、北川和則先生、阿部忍副会長とともに4人で参加してまいりました。今大会のテーマは「広めよう 高めよう 慈しむ心 ～君たちがつくる希望の明日を～」。佐賀会場をメインに、唐津、鳥栖、嬉野の県内4箇所における分散開催となりました。

私たちが参加した佐賀会場では、初日は佐賀学園高等学校吹奏楽部によるアトラクションに続き、基調講演「レモンさんのビタミントーク！～慈しみの愛言葉！We are シンセキ！～」、「学校教育とPTA～地域の将来を担う人材の育成とPTA活動～」をテーマ

に秋田県立角館高等学校、愛知県立鶴城丘高等学校、奈良県立奈良高等学校、沖縄県立久米島高等学校からの事例発表、そして2日目には株式会社タニタ代表取締役社長谷田千里氏による講演「日本を健康にするタニタの挑戦」が開かれました。

お子さんが通う小学校で5年間、レモンのかぶりものをしてPTA会長を務められたレモンさんこと、ラジオDJで脳感情学者の山本シュウさんの基調講演は開始早々からハイテンションで、親世代の古い思考や行動形態を「昭和チップ」と表現して明治維新のような第2のイノベーションが必要と説き、「We are シンセキ！」を合言葉に、互いに慈しみあうことの大切さを訴える内容でした。

中身の非常に濃い講演の内容もさることながら、他校の素晴らしいPTA活動の報告を聞くことができました。今後の活動に是非活かしていきたいと考えています。

人材育成委員会

人材育成委員会のこれから

人材育成委員長 稲邊 督



人材育成委員会では、昨年から今年にかけて創立120周年の記念講演会における講師の先生の選定に携わるとともに、今年の文化祭でのPTA展示では、講師の先生のご紹介をさせていただきました。講師の重枝豊英さん(前駐リトアニア共和国日本国特命全権大使)のことが、生徒や保護者の皆さんに事前に伝わる良い機会であったと考えております。

また県高P連の中では「進路対策委員」としての役割

を担い、大卒者の離職率が高いという問題をテーマにした座談会に出席し、質問や意見交換を行いました。大学等に進学する際に将来の就職を見据えた「明確な目的」を持つことができるよう、家庭内での話し合いや親子の対話がとても大切だと感じました。

今後の取り組みですが、現在凍結中の海外派遣事業のみならず、「人材育成」という観点で視野を広げ、将来の職業観を具体的に持つことができるような取り組み(職場見学や職場体験、会社経営者などの講演会開催など)も一考の余地があるのではないかと考えます。

今年一年間たいへんお世話になりました。ありがとうございました。

PTA会報編集委員会

読み手の心に響く 紙面作りを目指して

PTA会報編集委員長 五十嵐智子



会報編集委員会では、年間2回PTA会報を発行しています。中学校と高校のPTAと一緒に編集作業を行っています。

「子どもの姿が見える会報」「先生方や保護者の皆さんの想いが伝わる会報」作りを心がけてきました。そのために始めたのがアンケートです。ご多用中にも関わらず、いつも沢山の方々にご協力頂きながら会報作りをすすめることができました。また、アンケート用紙からは、子どもたちを思う深い愛情が伝わってきま

した。その熱い想いを、読んでくださる方々に伝えることができたら嬉しいです。

PTA活動を通して体験した、数多くの新しい出会いや繋がりに感謝したいと思います。ありがとうございました。



母親委員会

母親委員会の活動について

母親委員長 千葉 直子



母親委員会の活動についてご紹介いたします。
 主な活動として、年2回衣替えの時期に合わせた6月と10月に「朝の一声運動」を行っております。この活動は母親委員会伝統の活動で、委員が校門に立ち、子供達一人ひとりと「おはよう」の挨拶を交わします。

子供達から返される清々しい笑顔と挨拶で、こちらのほうが元気を貰える活動です。

また、「県高P連母親委員会」の研修会があります。今年度は県内の母親委員の皆さんと意見交換をするともに、高校生を取り巻く環境や、学校、地域の方々との関わり方などについての事例発表を聞きました。今後の活動の参考になる研修会でした。

興味のある方のご参加をお待ちしております。

高校・学年PTA会長所感

PTA活動の大切さ

1 学年PTA会長
千葉美佳子



本年度この役職に就いて早1年、いたらぬ私にお力添えいただきありがとうございました。9月にはPTA研修会と講演会を行い、また、120周年記念事業にも関わり交流を深められたことは大変良い機会でした。

生徒が充実した学校生活を送ってほしいと望むならば、家庭でどんなフォローをすべきか、PTA活動の中で情報共有できれば良いのではないかと考えています。我が子はあと何年学校と関われるでしょうか。長い将来のわずか数年です。学校と関われる限られた時間を無駄にせず、PTA活動の大切さをもう一度考えたいと思っています。

遂げずばやまじ

2 学年PTA会長
佐藤 徳幸



4月の総会以降会員の皆様方には、学年行事はもちろん、学校行事にも多くの方々にご参加、ご協力いただき誠にありがとうございました。

また、120周年という節目の年でもあり、子供達も体育祭や文化祭、修学旅行と多くの経験や級友との思い出が出来た事と思います。

高校生活も残り1年、先生方のご協力もいただきながら、生徒一人ひとりの進路実現のため、悔いの無い最高の1年にしましょう。

新たな道へ

3 学年PTA会長
菅原 悦朗



入学から3年が経ち卒業する生徒たちの今の心境はどうなのでしょう。緊張の入学式から、切磋琢磨し関高の誇りを身につけ、平成から新元号となる時代の節目の年に卒業し新たな進路に向かうこととなります。社会の中で日々人とかわり自身が磨かれ、色々な事を学びます。先生方の指導により身につけた知識と誇りを信じ、失敗を恐れず前に進んでほしいと願います。

文武両道、感謝の心・ありがとうの言葉を大切にす人となって、10年後、30年後の社会で活躍していることが楽しみです。

Snap Snap!!



文化祭PTA展示より



学校行事

文化祭

～ テーマ：彩る 120 回目の青春～

2018. 8.25



書道ボーイズ&ガールの傑作



10回目の中高合同開催です



120周年記念手型



開会式にポップコーンのアピール



いらっしやいませ〜



「ハイ!」「ホイ!」「ギタ!」



キヤーすぎ!!



やるな〜あいつ!!



スーパーマリオブラザーズ



吹研ハーモニー 70th



たこ焼き半精ないっで!



すてきなハーモニー



リアルでしょ〜



簡単に見えるけど、なかなか……



関高の伝統



ようこそ文化祭へ



附中生は芸も達者なんです



中学校展示、Artの世界



美味しいね〜



司会進行は任せて!

合唱コンクール

2018.8.30

2018.7.20

中学校



- 1位 3年2組 「花は咲く」
- 2位 3年1組 「In Terra Pax」
- 3位 2年2組 「虹」

高校



- 1位 3年A組 「ヒカリ」
- 2位 2年C組 「君が君に歌う歌」
- 3位 2年A組 「ほらね、」
- 古藤賞 2年F組 「未来へ」



創立120周年記念

～ 120年の歴史と伝統を胸に刻む～

記念事業

平成30年11月17日(土) 於 一関文化センター大ホール

(1)記念式典 13:30～14:15 参加者 920名

(2)記念講演会 14:30～15:50

講師 重枝豊英氏(前駐リトアニア共和国日本国特命全権大使)

テーマ「国際交流の絆 ～杉原千畝氏と日本・リトアニア関係」

(3)記念祝賀会 17:30～19:30

於 ベリーノホテル一関 磐井 東西の間

参加者 178名

～記念式典次第～

- | | |
|----------|----------|
| 1 開式のことば | 6 祝辞 |
| 2 国歌斉唱 | 7 生徒代表挨拶 |
| 3 校長式辞 | 8 校歌斉唱 |
| 4 協賛会長挨拶 | 9 閉式のことば |
| 5 感謝状贈呈 | |

～祝賀会次第～

- 1 開会のことば
- 2 協賛会長挨拶
- 3 祝辞
- 4 乾杯
- 5 歓談
- 6 校歌斉唱
- 7 閉会のことば



記念事業設備

(1)冷房設置工事 1階中会議室・3階大会議室

4階東学習室・定時制職員室

(2)体育館設備 設置

ブルヒーター6台・ジェットヒーター6台・パイプ椅子340脚

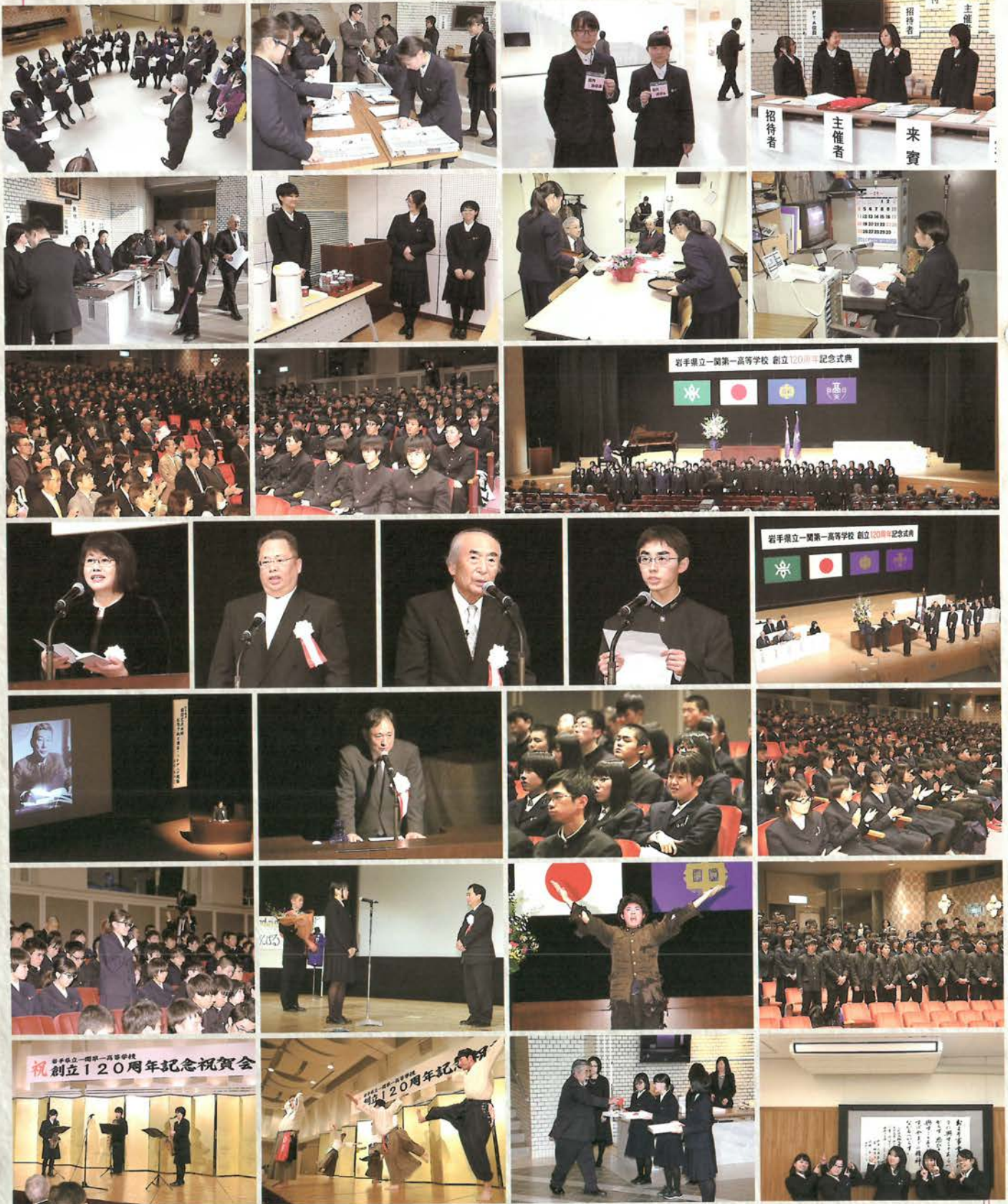
(3)記念テレビ番組(IBC)

12月22日(土) 15:00～15:54 DVD配布

お、みなみに自由存す

～創立120周年記念～

誇りと伝統を胸に刻んだ1日



修学旅行

高校

広島で平和を想い、古都でいにしへの文化に触れた旅 広島・関西方面 2018.11.26~30



いい恋……実りますように



イエーイ!! おいしいごちそういただきます



お願いですから……



ここ、え〜ね!
MIYAJIMA
ここ、え〜ね!



どっちがきれい?



宜しくお願いします in奈良



今日も賑やかだねえ in宮島



作戦会議中〜



おとがれのホグワーツ城



いいね!!



思い出の1ページ



魔法学校へようこそ



夜のリラックスタイム 2018.11.27



いいね!!



旅行中も欠かざるトレーニング



平和を祈る

修学旅行

中学校

スローガン 開花〜行こう! 未来へ!!〜 沖縄方面 2018.12.4~7



思い出の日



民泊先の方とバシャリ☆



平和公園にて



かわいいでしょ!



青い空と海 そして1組



2組そろいました



沖縄ワールド!



ひめゆりの塔の前にて



お世話になります!



しっかり食べようね♡



ワクワクですね



雨だよ〜



附中生集合〜



平和を学びます



海よりも広いものがある。それは空だ。
空よりも広いものがある。それは人の心だ。

【特集】中学校卒業

Boys & Girls,

続

副校長 千田 幸喜



高い志を抱き、次世代のリーダーを目指し、常に「附中三氣」を大切しながら、真摯に何事にも取り組み続ける8期生の皆さんを誇りに思います。

特に、「躍進～10年目のTEAM附中～」をスローガンに力強く全校を牽引し続ける8期生、学校行事や生徒会行事等を通して、仲間との友情を育み続ける8期生、限られた時間や施設の中で、自主的・自発的に部活動に打ち込み続ける8期生、お世話になっている方への感謝の気持ちや謙虚さ、そして誠実さを持ち続ける8期生の姿が印象に残っています。

「何も咲かない寒い日は 下へ下へと根を伸ばせ やがて大きな花が咲く」という言葉を思い出します。

これからの8期生一人ひとりのさらなる活躍を心から期待しています。



1組



2組

慣

3年1組担任 佐藤 満幸



ニュートンの運動法則の1つ、慣性の法則が頭に浮かぶ。

「慣」という字には、なれる。いつも繰り返してきた行いなどの意味がある。災害の際、日本人が整然と並んで支援物資をもらう姿が、海外から絶賛された。海外では混乱が起こる可能性が高いそうだ。日本人にとっては当たり前の、並んで順番が素晴らしい習慣だったのだ。当たり前の習慣が、素晴らしい行為であったり、価値あるものであったりすることがある。そういうものをみなさんには大事にしてほしいと思う。特に、若い時に身についた習慣は、将来、自分にとって大きな財産になるものが多い。当たり前のことから良い、当たり前前にできる「慣」を増やしてほしいと思う。

心

副担任 門間 和枝



年度末を迎え、壁に貼ってある掲示物をはがしていた時のことです。気がつくと、隣でふたりの中3男子生徒が、私がやろうとしていた作業を行っていました。「僕もやります。」「手伝いますか。」「声にして言葉のやりとりをしたわけではありません。くみ取って行動をおこしてくれたのです。さりげない振る舞いに心があたたかくなりました。雪が降った朝の駐車場は、除雪スコップを手にした生徒でいっぱいです。申し訳ない思いで車を乗り入れる私に向けて、次は手を止めて会釈までしてくれます。「きまり」「マナー」「当番・係」…決めごととは全くありません。意志で行動している生徒に迎えられ、すがすがしい気持ちで1日をスタートすることができます。中学校職員室からアリーナ教官室まではおよそ200mあります。行ったり来たりする途中でたくさん出会いがありました。荷物を持ってくれてありがとう。扉を開けてくれてありがとう。声をかけてくれてありがとう。笑顔を見せてくれてありがとう。さりげなく支えてくれたみなさんに感謝します。ありがとう。

3年1組

織 斑…今までのいいことも悪いことも、振り返れば全部水彩が溶けたままだらに見えたから。
 乃 波…日常生活の出来事も自分の感情も波のようでいい意味で刺激的な中学校生活だったから。
 颯 進…3年間があっという間に進み、勉強や部活を通して進歩しようとしたから。
 枝 混…出会った人々や個性、出来事が混ざって今の私ができているから。
 巧 成…勉強、部活動などの学校生活を通して多くのことを学び、成長できた3年間だったから。
 実 貫…3年間自分を貫くことができたから。
 亜 人…日常の中で、多くの人と支え、支えられたおかげで今の僕があると思うから。
 翔 伝…3年間色々な経験を通して自分の思いを言葉にして伝えることの大切さを学んだ。
 一 程…3年間を振り返って、専科への道程であり、人生のほんの少しの過程であった。
 千 楽…附中が楽しかったのと楽しい人達に出会えたことと、葉を折ってしまったという反省。
 慶 陽…春の陽気のようなあたたかい雰囲気の中でとても過ごしやすいから。
 人 附…附中に入塾してからの3年間でたくさんの良い人に出会えたから。
 陽 挑…これは挑戦の域で、特に部活などで新しいことに挑戦できたのでこの文字にしました。
 太 挑…勉強、部活、生徒会など多くのことに挑戦し続けた3年間だったから。
 真 山…上がり下がりがある3年間だった。成長したことがたくさんあり、充実していた。
 史 誇…自分にとって誇れる3年間だったから。
 苑 走…3年間が走り去ってゆくように短く感じたから。また陸上部として毎日走ったから。
 愛 伸…この3年間を通して、自分自身をしっかりと伸ばせたと思うから。
 未 笑…個人だけでなく、学校や学年としても笑顔が溢れる3年間だったから。
 花 奏…中学校3年間、自分だけの音楽を奏でることができたから。
 奏

尊 破…小学校の頃の自分と比べ、からを破り新しい自分を発見できたから。
 蒼 積…毎日の努力の積み重ねの重要性を学べた自分にとって大切な3年間だった。
 史 楽…友達と楽しく過ごせたが、同時にラクしてしまった事もあった。
 菜 趣…小学校6年間とは別の趣を感じる事ができた中学校生活だった。
 央 人…最初は皆知らない人の状態から始まったが、この3年間で多くの人と協力できたから。
 瑞 広…3年間の中で多くの人から刺激を受けて視野や考え方が広まって成長できたと思う。
 完 司 星…1日1日を自分らしく輝いて過ごせた。またそれは周囲の支えあってのことだった。
 智 菜 星…勉強する時としない時の波が激しい3年間だったから。
 明 星 波…懸命に駆け抜けた3年間でした。今後は高く目標を持ち、翔ていけるよう頑張ります。
 周 潤…部活動や行事、友達との会話など、3年間の毎日が充実していて潤っていたから。
 太 潤…3年間で学習面や人とのつながり、将来の事など学ぶことが多くあり、成長できたから。
 一 成…この3年間でお世話になった人に感謝し、高校でも受けた恩を忘れずに生活してゆきたい。
 華 謝…色々な経験があり、勉強生活においても豊調さがあった3年間だったと思う。
 佳 豊…陸上部として一生懸命走って跳んできたから。これからも跳躍し続けたい。
 乃 跳…3年間、自分の目標や夢に向かって進んでいくことができたから。
 子 進…この3年間で考える力がつき、成長することができたと思います。
 実 成…人間として大きく成長できた中学校生活の3年間でした。
 優 向…自分自身と友達と先生とたくさんの人と向き合った3年間でした。
 耕 幸…自分がやりたいことが全部できたし、毎日楽しかったので幸せだった。
 光 豊…3年間の中で新しい自分を見つけた。また、高校で新しい生活が始まるから。
 起 跳 進 考 成 向 幸 新

Be Ambitious!

希望を胸に前進あるのみ

誠

3年2組担任 内宮 康貴



『たとえば僕のためといって君がついた嘘なら 僕にとってそれは本当で』 by Every Little Thing 「恋文」。

子供の頃、嘘はダメ！と散々教わったのに。大人になるにしたがって、必要な嘘もあると思ったり、自分の想いを正直に言わず誤魔化したり、相手の為に言葉を選んだことはそもそも嘘なのか!?と思ったり。嘘と正直の間で葛藤する。でも、色々な人を見ていると、失敗や窮地の場面で、仲間にも助けてもらえるか否か、紙一重の境界がその人の「誠実さ」にあると感じる。自分は誠実な人間だと思えない。でも、誠実な人が好きだ。私もあなたも、きっと今より誠実な生き方ができる。そして、今よりも大人になれたら、恋文の歌詞の意味が分かるかもしれない。

努

副担任 菊池富美子



「小さいことを積み重ねるのがとんでもない所へ行くただの道の道だと思えます。」これはイチロー選手による言葉で、私が大好きな言葉です。ちなみに1月の授業始め式の日に渡された「校長室だより」でも紹介された言葉です。

イチロー選手は私と年がだいたい同じなのですが、彼の姿勢・物事に対する考え方は同世代とは思えないすばらしいものがあります。未だに現役であることが何よりの証拠です。私は大きな目標を掲げたら、それに向けての小さな目標をたて、一つひとつクリアし、達成感を味わうことも大切だと思います。その積み重ねを大切にしたいと常日頃考えています。

みなさんも自分を裏切らない努力の姿勢を大切に、今後も活躍し続けてください。

歩

3学年主任 羽柴 ルミ



「歩」という字を贈ります。生き方や進む道を決める過程は、右か左かを選べばいいほど単純ではなく、いくつもの可能性を検討できるほど手札もないという場合が多いものです。分岐点に立つたびに、自分の判断を支えるものは経験です。経験には、自身の経験と他者の経験とがあります。自身の経験ほど確かなものはないわけですが、そこに限界を感じたときには、他に答えを求めればいいのです。誰かの生き方が参考になるかもしれません。様々な本を読んで、思いもよらないシチュエーションを疑似体験したことが後々役に立つこともあるでしょう。その時々、自分にとって最善の答えを出しながら、あなたの夢に向かって力強く歩み続けてください。

極

副担任 遠山 文博



ご卒業、おめでとうございます。次世代のリーダーを担う皆さんにこの字を贈ります。「極」には、「きまわり、極限、最良」などの意味があります。興味をもったこと、今すべきこと、自分の進むべき道を極めてほしいという思いを込めました。また、「極」は私の大好きな「太極拳」の中にもあります。ゆっくりと円を描くその動きのように、時にはじっくりと考えたり、大きく回り道したりしながら、最後には自分の到達したい場所へ行き着いてほしいです。これからの人生には様々な困難があるかもしれませんが、その困難を乗り越える度に極意が1つ1つ増えていきます。人生の極意をたくさん会得し、次世代のリーダーとして活躍することを期待しています。

3年2組

斗真 支…部活動や勉強と様々な人に支えられ、行事では支え合いの大切さを学んだ。
琴音 淵…良い意味で淵深万丈。淵汗、泣いたこともあり、淵深さを持っていた時もあり。
寛太 笑…毎日笑って楽しく過ごしていたから。
桃果 実…振り返ってみて、楽しく、充実した3年間を過ごすことができた。
雅晴 戯…日々の生活が戯れであり、多くの人も戯れてきたから。
竜也 心…自分の心に向き合って優しくしていねいに人と向き合っていく。
柊太 趣…自分の趣味に没頭した3年間でした。高校では学習に力を入れたいです。
朋華 波…出だしは良くはなかったが、その後は良い方向へ進むことができたから。
美咲 挑…テストや検定など何かに挑戦することで自分自身も成長することができた。
海斗 旅…北海道に行ったり沖縄に行ったり、小説の世界に入ったりと、沢山旅をした3年間でした。
咲英 繋…たくさんの人との繋がりの大切さを実感した3年間だったから。
美奈 挑…入学して新しい環境で色々なことに挑戦できたから。
日花 濃…勉強、部活、行事など内容の濃い事を短い3年間でたくさん行ってきたから。
花恋 会…沢山のひととこの学校で出会った。この出会いが私の中学校生活を色づけてくれた。
侑紗 成…沢山の経験で成長することができ、またその成果が出た3年間だったと思う。
智教 高…高志の言葉の下、成績も身長も常に高みを目指してきたから。
祝翔 磨…勉強や部活動や委員会活動で厳しいことを乗り越え、自分を磨くことができたから。
帆乃 支…家族や友達に支えられて学校生活が充実した3年間になったから。
鈴奈 育…3年間で普段の授業や行事で様々な力が育ったと思う。

裕太郎 考…学校生活、勉強、部活様々な場面でたくさん考えて最善の行動ができるようにしていた。
毅 然…どんな事にも自然に、平然に、そして毅然として過ごせた3年間でした。
修良 超…この3年間は、勉強だったり部活だったり過去の自分を越えるよう努力していたから。
里桜 進…勉強や部活動を日々努力して少しずつ進んでいったと思うから。
優希 仲…この3年間、仲間と協力し助け合いながら過ごせたので。
伶奈 実…いいことも悪いことも全て含めて、実になる日々だったし、成長できたから。
空楽 食…健康のために、食べることは大切だと思ったから。
彩海 彩…毎日が変化に富んでいて、彩りの豊かな充実した3年間でした。
愛佳 友…友達が新しくでき、友達に助けられ支えられた3年間だったから。
多聞 懐…小学校の思い出にひたってばかりだったが、この3年間は懐かしむ日が続いてくると思う。
響 笑…楽しいことがいっぱいあって、友達とたくさん笑って過ごしたから。
遼人 旅…この3年間は、楽しい道も苦しい道も歩いた旅でした。
遼明 学…この3年間で大切なことを多く学ぶことができたから。
凜太郎 飛…とても多くの事を学び飛躍した3年間だったから。またこれからの飛躍を願って。
弘太郎 恵…3年間、友人や先生など、本当に恵まれた環境で学校生活を送ることができたから。
悠里 志…憧れとなる人を目標に頑張ってきた3年間だったので。
慶 伸…この3年間で、身長はもちろん学力や精神的な面でも伸びたと思うから。
新生 打…卓球部に入り、ほぼ毎日ボールを打ち込んだ。県大会にも出場でき、充実した3年間だった。
香音 実…「み」ではなく「じつ、まこと」の方です。本当に充実した3年間でした。
星 赤…学年カラーで、美術部だったので色の名前。また、沢山の初めてに赤子の意味も。

PTA研修会・講演会

岩手県PTA研究大会

11/4
(日)

平成30年度 岩手県PTA研究大会気仙大会報告



附属中PTA会長 佐藤 達之

11月4日(日)に陸前高田市にて第43回岩手県PTA研究大会が開催されました。

記念講演は、ラジオDJ山本シュウさんによる「家族として地域として私たちに出来る事は何かを考え

よう」がテーマです。PTA会長歴任、スポーツメンタルトレーニングコーチである山本さん。「コミュニケーション崩壊が叫ばれる昨今、自身の経験をもとにまずは自らが相手に声掛けし、聴いて確認し同調することで距離が縮まる。繰り返し対話することで気付き、気付かせが生まれる。その気付かせが信頼関係を構築し孤独や孤立を減らせる。」家族、地域で支え合い助け合うことが現代の社会で必要であることを再認識した講演内容を、今後のPTA活動に生かせればと思います。

第5分科会に参加して



附属中PTA副会長 大前 智子

今回PTA研究大会に初参加となりましたが、気仙地区の熱意あるPTA活動の一端に触れることができ、大変貴重な経験をさせていただきました。私は第5分科会「心づくりと体づくりの大切さ～子どもたちの笑顔のために～」に参加しましたが、パネ

リストの先生方の「震災後の子ども達を、高田の町をなんとかしたい！」という一心で行って来た活動の軌跡に、ただ頭を垂れ聞き入るのみ……。現状での問題は多々あれど、医療や教育現場、地域が一つになって子どもを支えている姿に復興の兆しが見えた気がしました。復興といえば、高田の町の道路の変化の速さにはナビも追い付かず三陸道に案内され、危うく大船渡へ行きかけ大失敗。同行の先生方、佐藤会長にはお手数おかけしました。ありがとうございました。

講演会

11/10
(土)

PTA講演会から

～進路実現に向けて今備えておくべき保護者の視点



附属中PTA副会長
PTA講演会担当 林 苗子

講演会で特に印象に残ったのは、今後の学びには選択力や暗記力ではなく、思考力がより問われるという点です。この力を養うには、多面的・総合的な視点で活動する課題研究や特別活動も重要であること、そこから得る力は問題解決力にも結びつき、社会環境の変化に対応できる人間形成にもつながることを学びました。進路実現に向けて、まずは子どもが生きる軸を作ることが重要です。それは理想の自分を想像し希望の職業を選択する職業逆算型ではなく、生きる手段に仕事があり、自分を活かす進路につなげる進路探求型が理想であることにも気付かされました。この視点への気付きは、講演会後に寄せられた保護者の感想からも伺えます。

また、不規則な生活習慣が学習習慣の定着を妨げ

平成30年度PTA講演

「学校と家庭が連携して育む学習力」
～効果的な家庭での過ごし方～

講師 株式会社ベネッセコーポレーション
東北支社 工藤 佑哉 氏
場所 いわいホール

ている点。生活の基礎は学びと結びつき影響することから、生活の当たり前を見逃さず、考え向上させる姿勢も必要と思います。

最後に読書習慣のお話もあり、ゆとりの無さを理由に読書しない行動こそが、ゆとりの無い自分を生み出すと感じました。これを機に、親子ともに読書を通じて心に余裕を与えたいものです。

講演会は、進路に向け備えたい力と家庭のあり方などを網羅した内容であり、有意義な時間でありました。

6/28(木)
7/3(火)
7/4(水)

～平成30年度地区懇談会に参加して～

3学年PTA会長 橋本 華恵



今年度の地区懇談会は6月に一関会場、7月に北上会場と奥州会場にて開催され、計60名以上の参加が

日時	会場
6月28日(木) 18:30～20:00	一関会場：本校大教室 (保護者37名)
7月3日(火) 18:30～20:00	北上会場：北上市文化交流センター (保護者13名)
7月4日(水) 18:30～20:00	奥州会場：奥州市文化会館Zホール (保護者20名)

ありました。私が参加した一関会場では、和気藹々とした雰囲気の中、先生と保護者の方々が子供たちの学校の様子や家庭での様子、心配事などを思い思いに語り合い、活気のある意見が交わされました。とりわけ全会場で話題に上ったのは携帯電話との付き合い方で、多くの家庭で課題になっているようでした。学年や性別によっても保護者の思う所は千差万別で、息子を持つ私には知り得なかった女子生徒を持つ親御さんの考えなども聞け、大変有意義な会でした。日頃お会いすることの少ない先生や保護者の方々と色々なお話ができる貴重な機会であったと思います。

PTA学年行事

10/14
(日)

～一関市内散策～

2学年PTA会長 伊藤てるみ



2学年のPTA行事として、10月14日(日)に一関市内散策を行いました。

親子一緒に8班に分かれ、いわいの里ガイドの会の方々の巧みなガイドのもと、文化センター～一ノ関駅～釣山公園頂上～世嬉の一酒造～磐井橋～浦島公園～旧沼田武家住宅の各地を、歴史を学びながら歩きました。

生徒達はとても静かにガイドさんの話に耳を傾け、親達もいわれを改めて聞くことで、普段何気なく目にしていた風景が興味深く見えてきたように感じました。

学び舎のある地域を知り、生徒達が今後更に地域に

関心を寄せ、繋がりをもって過ごすことで、学生生活がより豊かなものになることを期待しています。



11/10
(土)

～どっちの字「ヂ」「ジ」～

1学年PTA会長 池田恵一郎



今年10期生となる1学年PTA行事は、懇親会と親子レクを企画しました。



7月開催の懇親会では、体育祭での成長、部活動や学校での様子などゆっくりと話が出る機会になりました。先生方にも多数参加頂き学生時代のお話や趣味のお話と、終始和やかな雰囲気でした。11月には親子レク「ドッジビー」を開催、肌寒い早朝からのスタートだったのですが、クラスマッチを控えた生徒の皆さんは気力も団結も充分に見えました。普段の学校生活で身につけているのでしょうか、個人の力だけではなく、学年全員で協力し行事を作る姿が印象的でした。

一年生での役員は不慣れな部分が多いのですが、他の役員さん、先生方、保護者の皆様の協力を頂き無事に終える事が出来ました。皆さん、ありがとうございました。

一年間の軌跡

高校



我が学び舎



水戸市高総体開会式



あ～愉快なり～愉快なり～



ホイッ!!



心配ないさあ～♪



仲間っていいな～



Let's go!!



足、長～い!



入学式校歌紹介 ようこそ関高へ



お願い!!

中学校



新しい仲間と先輩との生活にドキドキ



どーなってる??



ハーモニーを響かせよう♪



パフォーマンス集団



フレー!フレー!頑張ってる!!



キャッター!県大会出場!!親も応援に全力投球!!



ヨ・回・シ・ク



愛情弁当、最高～!



集中、集中



初々しいカバンが大きく見えます♡



勝利の瞬間



実験うまくいった～

入部待ってるよ!

編集後記

- 沢山の方々に支えていただき、3年間楽しく活動することができました。ありがとうございました。五十嵐智子
- 表紙の写真にとても感動しました。120年の歴史の一部に関われたことも感動。平成最後の節目の年、会報を通して皆様熱い思いや親子の深い絆を再確認できたことにも感動しました。千葉比佐子
- 新しい仕事に就き、今までの職場でやってきたことや出会った方々から学んだことを色々な場面で生かすことができ、感謝の気持ちでいっぱいです。これからも出会いを大切に、人間として成長し続けたいです。岩淵佳瑜
- 「笑福来門」いつも笑って明るく楽しい活動でした。たくさんの方々のたくさんのお想いにも触れることができ、とても貴重な時間となりました。あらゆることに感謝いたします。ありがとうございました。佐藤智子
- どの写真にも輝く生徒の姿があって、たくさん写真の中から限られた枚数を選ぶのは、大変でした。見入ってしまう時間がかりましたが、幸せなひとときでもありました。門間和枝
- 編集委員の方々の熱心な作業に、微力ながらも一緒に参加することができて、とてもいい経験になりました。後藤大作
- アンケートの結果を拝見し、子供たちへの父母の方々の熱い、そして優しい思いを肌で感じ、その中から感動を頂きました。ありがとうございました。佐藤 智
- 子ども達の真剣な顔、沢山の溢れる笑顔に触れられたことに感謝いたします。福田文恵
- 「温故知新」の編集作業に参加して、とても勉強になりました。何より、楽しかったです。東海林尚美
- 委員の皆さんと一緒に立案から原稿依頼、編集作業まで携わった会報が手元に届いた時、感慨深く思いました。会報編集を通して貴重な時間を楽しく共有することができたことに感謝いたします。千葉正恵
- 初めは私に務まるか不安でしたが、委員の皆様と先生方のご協力のもと、無事に終えることができました。写真選びなど、子ども達の成長も見て楽しい仕事でした。1年間ありがとうございました。角地恵恵
- 広報編集委員の皆さんの熱意と効率の良さに、色々勉強させていただきました。ありがとうございました。伊藤真希
- 会報の編集に携わったのは初めてでしたが、委員の方々が活発に意見を出し合っていたのが印象的でした。浦川智美
- 120周年という節目の年度の締めくくりに、「温故知新」150号の発行に携わったことを嬉しく思います。今年度はとりわけご家庭と学校の一体感を、そしてPTA活動の醍醐味を存分に味わうことのできる1年間でした。本当にありがとうございました。(事務局 高校：切田望、泉田貞子 中学校：佐々川秀勝 創立120周年記念担当 千葉勝幸)

写真提供 三浦写真館 表紙の題字 佐藤 光堂